

地域の安全は地域の方で

～ 防犯ボランティアの活動 ～



全国各地で、住民が巻き込まれる犯罪が多発している中、桜川市においても、今後、犯罪が発生する危険性はゼロではありません。新手の振り込め詐欺、盗難、子どもたちが被害者となってしまう事件など、住民が被害にあわないよう地域が中心となりその予防・対策に取り組むことが大切です。

桜川市では現在、防犯ボランティアとして10団体(石瀬：3、真壁：6、大和：1)で総勢743人が登録されており、防犯協会、防犯連絡員協議会などとともに活動しています。

今回、4月21日から30日の10日間実施された「春の地域安全運動」期間中の防犯行事などを紹介します。

■ 防犯パトロール

桜川地区防犯連絡員協議会では、毎月15日を「防犯の日」と定め、各支部の班長を中心に、徒歩または車両により地区ごとに5人程度で防犯パトロールを実施しています。

午後7時から8時の1時間程度、おそろいの反射ベスト、帽子、腕章、青色合図棒を携え、危険地域・防犯灯のチェックなどに重点を置き、地域ぐるみで犯罪の起こりにくい環境づくりに向けて、防犯連絡員みずからがパトロールを展開しています。



不審者に間違われたり、交通事故に遭わないように目立つ服装でパトロールは実施しています。

■ 110番の家への駆け込み・通報訓練



不審者対応訓練で、下校時に不審者から声をかけられ、逃げようとする樺穂小学校の児童たち

子どもたちを犯罪から守ろうと、桜川警察署は4月23日市立樺穂小学校の児童を対象に、通学路で不審者への対応訓練を実施しました。警察署員のほか、地元の防犯ボランティアなど40人が参加。訓練は、不審者役の男性が、下校中の児童に「散歩中に犬が逃げたので一緒に探して欲しい」などと声をかけ、児童を車に連れ込もうとする設定。児童たちはその場を逃げ出し、近くの「110番の家」に駆け込み、助けを求めました。訓練に先立ち、防犯ミニ集會が開かれ、児童たちは防犯の心構えを学びました。

子ども被害の犯罪や車上ねらいなどを未然に防止するため、ショッピングセンター駐車場でチラシなどを配付する防犯ボランティア

■ 街頭キャンペーン

4月21日と26日の2日間、カスミ岩瀬店とフードオフストッカー真壁店の店頭で、それぞれ街頭キャンペーンが実施されました。

これは、子ども被害の犯罪や車上ねらいなど住民の身近な犯罪を未然に防止するため行われたもので、当日は、桜川地区の防犯協会、防犯連絡員協議会のほか市内の自警団の10団体も参加しました。買い物客などを対象にチラシを配付し、地域安全運動の広報・啓発運動を展開しました。



子ども被害の犯罪や車上ねらいなどを未然に防止するため、ショッピングセンター駐車場でチラシなどを配付する防犯ボランティア